

● 常磐会学園による地域協働の取組

番号	事業名	事業内容	具体的な取組内容	令和7年度実績	令和8年度予定
1	クリーンピック	【開催時期】 随時 【事業内容】 区内を大学の学生、教職員により清掃	大学生、教職員が大学周辺地域を中心に実施	大学周辺地域の清掃を春・秋に実施	・総合演習教職Ⅱ：4/21(水),28(水)実施。ゴミの状況分析と地域コミュニケーション、子ども達の美化意識向上に向けての考察等 ・総合演習教職Ⅰ：10月に実施予定。地域コミュニケーション、学校園での清掃活動実施に向けての考察等
2	地域学習	【開催時期】 通年 【事業内容】 ・喜連村史の会と連携し、地域学習を展開 ・職場体験等の場として地域の学校に協力	・大学生が喜連村史の会の案内で喜連地区についての郷土史の学習 ・中学生が事務所、図書館等で職場体験を実施	・前期の授業で「喜連村史の会」の方々に講師に招き、東喜連地区を中心に喜連村地域のフィールドワークを実施 ・学修成果を市役所展示スペースにて展示	・総合演習教職Ⅱ：前期の授業にて、喜連村史の会から講師招聘しフィールドワーク実施、事前学習と事後の作品制作も行う。地域を知り、子どもたちへの伝え方を考える。
3	元気アップ事業	【開催時期】 通年 【事業内容】 長期休業中や定期試験前の中学生の学習支援	各中学校に学生を派遣して学習支援を実施	ボランティア学生を募り、数名が活動した。	ボランティア学生を募り、数名が活動予定
4	学習サポーター	【開催時期】 通年 【事業内容】 小中学校の児童・生徒の学習支援	学生ボランティアによる教室での学習支援	・指導員募集の学内での広報 ・学生が学習支援への参加	・指導員募集の広報 ・教員・学生の派遣
5	公開講座	【募集時期】 春・秋の2回 【開催時期】 随時 【事業内容】 各種公開講座の実施	幼児体育、美術、科学遊び、ウクレレ、歴史探訪など幼児から高齢者までを対象の講座を開講	前期は19講座、受講者延べ616人参加 後期は17講座、受講者数延べ458人参加	・すでに前期15講座が終了し、延べ391人参加 ・後期も開講に向けて準備中
6	防犯啓発活動	【開催時期】 随時 【事業内容】 平野警察署などと連携し、幼稚園や保育所等での防犯教室や各種防犯キャンペーン活動に参加するなど、地域の防犯啓発活動に協力	・幼稚園や保育所等での防犯教室の開催に協力 ・駅や銀行等での各種防犯キャンペーン活動に学生が参加	実施せず	実施せず

● 常磐会学園による地域協働の取組

番号	事業名	事業内容	具体的な取組内容	令和7年度実績	令和8年度予定
7	ミニコンサート	【開催時期】 随時 【事業内容】 幼稚園や保育所等を対象にした出前コンサート	教員と学生によるボランティアで、童謡を中心に演奏活動を実施	あおぞら音楽隊 ・平野ミュージックステーション 令和7年12月13日(土)14時～ ・平野西保育所公演 令和8年2月20日(金)10時～ ・西喜連保育所公演 令和8年2月24日(火)10時～ 吹奏楽部は、常磐会吹奏楽団と連携し、「平野南フェスティバル」、「平野南イブ・プラット」、「おおはま作業所」、「アドベントコンサート」など、地域や福祉施設において積極的に演奏活動を行った。音楽を通じて地域住民との交流を深めるとともに、学生が社会とのつながりを実感し、主体性や協働性、表現力を育む実践的な学びの機会となった。	・あおぞら音楽隊は昨年度と同様の活動予定 ・吹奏楽部は、令和8年度も地域・保育施設・作業所等での演奏予定
8	常磐会学園こどもセンター	【開催時期】 ・平成27年6月2日(火)に開所。未就学児対象 第1・3・5週目 月曜日～金曜日 第2・4週目 火曜日～土曜日 【事業内容】 ・子育て親子に室内あそびと外遊びを提供している。 ・こどもや子育て中の保護者に必要な講座やニーズの高いイベントを実施して、子育て親子が笑顔で楽しく子育てができるようにサポートしている。	・虐待防止を視野に入れ、概ね0・1・2歳児を対象にして、情報提供をする。 ・親も子どもと同じく友達を作る。 ・色々な相談に乗る。 ・食育の重要性を教える。 ・外遊びを通して幼い時期から五感を使った外遊びの大切さを実感する。 ・ブックスタートにも力を入れ、0歳からの絵本との出会いを大切に、親も子どもも好きな絵本に出会い、生きる力の基礎を築く。	・R7に開館日の変更をしたがHPアップ、掲示、来館時の事前告知などで利用者に周知できた。 ・気にかかる来園者には子どもの様子をよく見るとともに保護者の話をしっかり傾聴する中で相談につなげたり、区の支援室と連携を取るなど図った。 ・平日は乳児専用園庭グリーンランド、土曜日は幼稚園園庭を活用することで外遊び目的での利用者が増えた。また、土曜日の開館週を変更したが開館週は園の園庭開放をしたことで園庭開放参加者もニーズに応えることができた。 ・昨年から取り組んだ「おさんぽ絵本」は期中で学園から絵本の寄贈もあり種類が充実し利用者が増えた。	・令和7年度に引き続き、当センターを利用する親子に丁寧な対応をしていく。 ・開館曜日変更なし 第1・3・5週目 月曜日～金曜日 第2・4週目 火曜日～土曜日
9	外遊びを通してこどもたちを元気にするまちづくり推進の取組	【開催時期】 ・4月～3月 【事業内容】 ・平成27年度に平野区が公募した「外遊びを通してこどもたちを元気にするまちづくり推進事業」に応募し、以後、その取組を継続するかたちで地域に対するサービスを展開している。	「平野区のこどもたちを元気にする宣言」の理念が浸透するように、外遊びを通してこどもたちを元気にするまちづくり推進事業の目的が達成するように、十分協議して実施する。	・昨年同様乳児用園庭「グリーンランド」を利用できることをセンター利用者から「安全に遊べる所として安心して利用できるのが嬉しい」という声が多い。特に0歳児が戸外で初めて靴をはいて歩く経験の際に利用される親子は多かった。 また幼稚園の保育教諭がグリーンランドに設置した手作りおもちゃが好評で「家でも作って遊んでみます」との声も聞かれた。 ・子育てフェスタ の取り組みは以前からしていたが11月8日(土)13:30～15:00常磐会幼稚園園庭にて「就学前の子ども達！常磐会幼稚園の園庭で遊ぼう」と園庭をイベントで開放した。この日は就園している子どもも参加できることから未就園児のきょうだいも参加し好評だった。	・令和7年度に引き続き「外遊びを通してこどもたちを元気にするまちづくり推進事業」に取り組む。引き続き、平日はグリーンランド、土曜日は園庭を開放し、外遊びが存分に楽しめるようになる。 また、月1回センター休館日の土曜日に幼稚園の園庭開放実施(常磐会幼稚園実施) ・今年度も子育てフェスタの会場として常磐会幼稚園園庭開放実施

● 常磐会学園による地域協働の取組

番号	事業名	事業内容	具体的な取組内容	令和7年度実績	令和8年度予定
10	みんなあつまれときわかい	【開催時期】 6月 【事業内容】 短大の学生たちが地域のこどもの遊び場を創造し、運営することを通じて、自主的・民主的なクラス集団づくりに取り組むとともに、本学と地域とのつながりの構築に寄与する。	短大1回生通年必修の「基礎演習」授業のなかのプログラムのひとつとして、各クラスの学生たちが地域のこどもたちへのあそびを考え創造、地域の親子を招待して運営	・6月14日(土)9:00～12:00に開催された。1回生7クラスの学生たちが、「作って遊ぼう」「身体を動かして遊ぼう」「伝承遊び」の3つのテーマに基づき、各クラスで遊びのエリアを想像した。近隣の子ども達101名と保護者82名参加	6月6日(土)、短期大学部1回生の基礎演習の授業の一環として「みんなあつまれときわかい」が開催された。当日は地域の子ども115名が参加し、「つくってあそぼう」「体を動かしてあそぼう」「伝承遊びをしよう」の3コーナーで、学生が企画・制作した多彩な遊びを楽しんだ。学生は保育者を目指す立場として主体的に子どもに関わり、実践的な学びを深める機会となった。また、地域の子どもや保護者との交流を通して、保育者として必要なコミュニケーション力や企画・運営力を育む貴重な教育実践となった。
11	学園祭	【開催時期】 10月 【事業内容】 短大・大学が同日に、学園祭を開催。学生が主体となって準備運営し、短大・大学がサポートする。地域の子どもや保護者にも来場して楽しんでいただけるプログラムになっている。	・短大・大学での学園祭の準備・開催 ・地域の子ども・保護者が来場し、楽しんでいただけるプログラム企画 ・大学近隣の平野区の幼稚園・保育所等に案内	令和7年10月25日(土)、「ときわ祭(学園祭)」を開催した。本年度は、大阪常磐会大学・大阪常磐会大学短期大学部自治会として初めて実施する学園祭となり、学生が主体となって企画・運営を行った。学内では、学修成果の発表、模擬店、体験型企画など多彩な催しを実施し、多くの学生・卒業生・地域住民が来場した。学園祭を通して学生の主体性や協働性、企画・運営力が育まれるとともに、地域との交流を深め、本学の教育活動や魅力を広く発信する機会となった。	令和8年度は、10月24日(土)に「ときわ祭」を開催する予定である。本年度は「地域とともに創る学園祭」をテーマに、学生による学習成果の発表や模擬店、体験型企画などを実施し、地域住民との交流を一層深める機会とする。また、スペシャルゲストとして、タレントのはるな愛氏を招き、歌とトークショーを開催する予定である。学生・教職員が一体となって企画・運営を行い、地域に開かれた大学として本学の魅力を広く発信する機会とする。
12	トキガクフェスタ	【開催時期】 7月 【事業内容】 大学の学生が学修成果の発表を企画・運営することを通じて、地域のこどもに遊びや劇を提供する。本学と地域とのつながりの構築に寄与する。	「保育実践演習」(主に3回生が受講)ではおみせやさんを、「保育表現指導」(4回生が受講)では劇を学生自ら企画・運営をし、地域の子ども達に向けてあそびを提供	・7月12日(土)開催 ・近隣の幼稚園・保育所等にチラシを配布して、地域の子ども・保護者 102名来場 ・おみせやさん、合奏を楽しんでいただいた。	・7月18日(土)開催 ・近隣の幼稚園・保育所等にチラシを配布して、地域の子ども・保護者に参加して頂く予定。 ・おみせやさん、合奏を楽しんでいただく。
13	防災デイ・キャンプ	【開催時期】 10月 【主催】 平野区みんな食堂ネットワーク連絡協議会 【事業内容】 地域の災害対応力を強化するための取り組みを実施する。	・短大が場所を提供し、教員が講師として協力して、地域の災害対応力を強化するための取り組みを実施 ・令和6年からは、短大学生もサポートスタッフとして参加 ・「社会福祉法人大阪府社会福祉協議会にじいり募金」助成事業	令和7年度実施せず	令和8年度実施せず

● 常磐会学園による地域協働の取組

番号	事業名	事業内容	具体的な取組内容	令和7年度実績	令和8年度予定
14	平野区関係機関と常磐会幼稚園の協働の取り組み	【開催時期】 7月 【主催】 平野区青少年福祉委員連絡協議会 【事業内容】 常磐会幼稚園園児が舞台発表を行う。	平野区こども七夕フェスティバルに常磐会幼稚園園児が参加し、歌などの舞台発表	7月5日(土)七夕フェスタ参加(5歳児)	令和8年度実施せず
		【開催時期】 9月 【主催】 平野南地域活動協議会 敬老会 【事業内容】 平野南地域の敬老会に常磐会幼稚園園児が参加し、舞台発表を行う。	平野南地域活動協議会の敬老会に常磐会幼稚園園児が参加し、舞台発表	・9月14日(日)敬老会参加(5歳児)	・園行事、保育の流れに合わせ参加にむけ検討中
		【開催時期】 12月 【主催】 平野南地域活動協議会 イブ・プラット 【事業内容】 平野南地域のイベントに常磐会幼稚園園児が参加し、舞台発表を行う。	平野南地域活動協議会のイブ・プラットに常磐会幼稚園園児が参加し、舞台発表	・12月21日(日)イヴプラット参加(4歳児)	・園行事、保育の流れに合わせ参加にむけ検討中
		【開催時期】 5月 【主催】 平野区役所 【事業内容】 「種から育てる地域の花づくり」支援事業に常磐会幼稚園園児が参加し、協力する。	・平野区の花づくりボランティアさんと一緒に1人ずつポットにひまわりの種をまき育てる ・ラグビーレッドハリケーンズの選手と交流	・5月21日(水)平野区の花づくりボランティアさんと一緒に1人ずつポットにひまわりの種をまき育てる(5歳児) ・ラグビーレッドハリケーンズの選手と交流する(3～5歳児)	・5月平野区の花づくりボランティアさんとひまわりの種まきをし、後日その苗(約100本)を園舎北側に植え替え、現在開花を楽しみに水やり雑草抜きをしながら育て中(5歳児) ・種まき当日ラグビーレッドハリケーンズの選手と交流(3～5歳児)

● 常磐会学園による地域協働の取組

番号	事業名	事業内容	具体的な取組内容	令和7年度実績	令和8年度予定
参考	その他の 学生のボランティア活動	【開催時期】 随時 【事業内容】 被災地の子どものキャンプ活動、平野区のイベントへの協力等、各種のボランティア活動を展開	・平野区役所関連のイベント参加 ・社会福祉協議会での活動 ・子ども食堂ボランティア ・地域のNPO法人子ども支援ボランティア ・平野警察防犯ボランティア ・その他の自主ボランティア	令和7年度も、学生が主体となり、地域社会と連携した多様なボランティア活動に取り組んだ。平野区役所や社会福祉協議会等と連携した地域イベントへの参加、子ども食堂におけるボランティア活動や「みんな食堂祭り」への協力、地域のNPO法人による子ども支援活動への参加などを通して、地域福祉の推進に貢献した。また、有償ボランティア制度を活用し、保育所・認定こども園等で継続的な活動を行う学生も増加しており、地域社会への貢献と実践的な学びの両立を図った。これらの活動を通して、学生の主体性や社会性、地域課題への理解を深める機会となった。	令和7年度も、平野区役所や社会福祉協議会、地域団体等と連携し、「平野区民まつり」「あかる姫まつり」「ボラセン祭り」など地域イベントへの参加を継続するとともに、子ども食堂でのボランティア活動や「みんな食堂祭り」、子ども食堂主催キャンプへの協力を推進する。また、赤い羽根共同募金活動への参加や、大学祭における子ども虐待防止啓発キャンペーンなど、新たな地域貢献活動についても検討を進める。地域との協働を通して、学生が社会的責任や実践力を身に付ける教育活動として、一層の充実を図る。